

パターン認識演習1

本演習について

授業との関係について

本演習はパターン認識の演習です。

講義の内容を演習で確認するために行います。したがって、授業に出て話を聞いていることを前提に行います。

授業に出席してから演習に臨んでください。

授業に出席してから演習に臨んでください。

大事なことなので二回書きました。

演習内容について

本演習は、パターン認識をプログラムで実装し、理解を深めることが目標です。

そのため、プログラムを書く量が非常に多いです。覚悟して臨んでください。

ただし、プログラムの難易度は情報系学科の3年生として出来るレベルのものです。

プログラムの勉強も兼ねていると考えてください。

なお、使用するプログラム言語はC,C++,Javaのいずれかとします。

それ以外の言語を使いたい方は申し出て下さい。私が分かる言語ならば許可する可能性があります。

自分たちで取得した文字データをパターン認識で識別する課題があります。

この課題を行うために、演習の時間を使って文字データ取得を行います。これに参加しないと文字データがなく、課題を行えないことになります。

第3,4回の演習で行いますので、この回は必ず出席するようにしてください。

なお、文字データ取得実験に参加しない方は、今後の演習は出なくても大丈夫です。来年は欠席しないよう予定を開けておいてください。

課題について

課題内容、提出期限などは皆さんの進行状況を見て変更する可能性があります。

本WEBページを頻繁にチェックしてください。

また、本WEBページの内容は予告無しに変更されることがあります。

昔の情報を信じていると時代遅れになる可能性があります。ご注意ください。

レポート提出の注意

レポートについて

疑問その他

疑問点、その他がありましたら、鳥海tori(at)is.nagoya-u.ac.jpまでメールをお送り下さい。

本日の課題

課題1, 最近傍決定則による認識実験

課題2, 最近傍決定則による認識プログラムの作成

重要なお知らせ

4月27日または5月11日の演習には必ず参加してください。